



12月の花 シクラメン

北アフリカ～地中海沿岸地域にかけて自生していました。豪華な雰囲気の大鉢シクラメンから、屋外の寄せ植え等でも楽しめる小さなガーデンシクラメンを含め、様々な品種があります。暖かく日当たりの良い場所を好みます。

とうめい news

2025.12.1
Vol. 292

〒243-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者: 河野 昌史
編集責任者: 佐藤 賢治
印刷: (有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

頭痛について

脳神経外科: 鬼塚 圭一郎

TOPICS

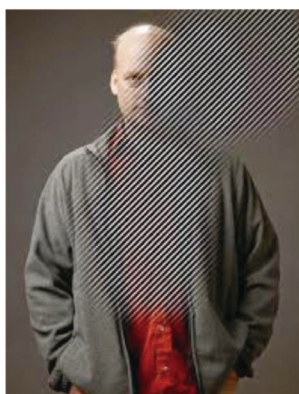


皆さんは頭痛を経験されたことはないでしょうか？
多くの方は経験されたことがあると思います。一口に頭痛といいましても、気が付いたら治っていたとい

う軽度なものから、嘔吐を伴う激しいものまで程度は色々です。

危ない頭痛の代表はくも膜下出血で、3人に1人は亡くなってしまいます。

また命までは取られませんが、日常生活に支障のする頭痛の代表が片頭痛です。10歳代から40歳代の女性に多く、頭痛時に吐き気を伴い、音や光に過敏になります。1回の頭痛が数時間から2 - 3日続きます。典型的な片頭痛では、掲載した下図のようにチカチカと光る



ギザギザした点（閃輝暗点(せんきあんてん)）が出現して大きくなっていき、それがおさ

まったところに頭痛がするという経過をとりますが、こうした前兆を伴わない場合も多いようです。市販の鎮痛剤で社会生活が送られていけばいいですが、そうでない場合は神経専門医を受診することをお勧めします。片頭痛に有効な鎮痛薬や、頭痛が頻繁な方には予防薬、最近は月1回の自己注射剤が使えるようになりました。

次にこのところ増加しているのが動脈解離(かいり)に伴う頭痛です。耳介(耳)後部の強い頭痛が続くもので、MRI検査にて診断されます。動脈壁が裂けることにより血管が膨らんだり、細くなったりといった特徴的な形態変化を示します。多くの場合は安静、血圧管理で改善しますが、脳卒中に移行するケースもありますので注意が必要です。

また脳血管が一時的に縮むことによっておこる激しい頭痛、可逆性脳血管攣(れん)縮(しゅく)症候群が最近の国際頭痛学会で示されました。入浴や性行為、感情の高ぶりによって引き起こされるもので、MRI検査にて脳動脈の縮み具合によって診断します。多くは数日から数週間で改善しますが、脳卒中を伴った場合は後遺症を呈することがあり、早期の診断が望まれます。

頭痛でお困りの方は主治医へご相談ください。

